

2016年4月21日

株式会社日立情報通信エンジニアリング

## 遠隔監視・制御を実現する「スマートIoTサービス」を提供開始

IoT/M2Mシステムの早期導入を可能とし、データ収集・利活用により新たな価値を創出

株式会社日立情報通信エンジニアリング(代表取締役社長:小菅 稔、本社:神奈川県横浜市)は、このたび、「IoT<sup>\*1</sup>/M2M<sup>\*2</sup>情報収集ソリューション」の機能を拡張した「スマートIoTサービス」の提供を開始します。これまで提供してきた「温度監視サービス」のリアルタイムなデータ収集とその見える化、24時間監視による異常検知と警報通知機能に加え、新たにモバイル回線によるデータ収集や空調機器の監視・制御を可能としました。また、監視可能な対象を温度から電力、湿度、CO<sub>2</sub>濃度などの環境データをはじめ、産業用機器から収集される稼働データまで拡張し、EMS<sup>\*3</sup>や産業用設備の予兆監視など、幅広い用途に適用可能な自動監視を実現しました。

IoT時代の到来により、インターネットを介して多様なデータが収集できるようになり、蓄積されたデータを、ビッグデータとして利活用したいという市場ニーズが高まっています。

例えば、食品の製造・流通・販売に関わる企業にとっては、「食の安全性」の観点から、生産や製造の過程のみならず、流通や輸送における品質管理も重要な課題の一つとなっています。特に多様な食品を扱う外食・小売店舗・倉庫・トラック輸送などに対しては、食品衛生管理基準に基づく冷蔵・冷凍設備の適切な温度管理が求められており、人を介さず効率的で信頼性が高いシステムによる温度データの収集・管理・利活用が注目されています。

また、高い稼働率が求められる産業分野の機器・設備では、計画外の設備停止による損害発生を防ぐ予防保全の必要性から、機器・設備からの稼働データ収集とそれらを利活用した自動監視が求められています。

当社はこれまでに、「冷蔵庫温度監視サービス」による飲食チェーン店などにおける冷蔵庫の温度監視や、BEMS<sup>\*4</sup>によるエネルギーの見える化など、食の安全や省エネに貢献するシステムやサービスを提供してきました。

それらの機能を統合・拡張し、かつクラウドにも対応した「スマートIoTサービス」とすることで、多種多様なデータの収集と利活用を可能としました。

例えば、飲食系チェーン店やデパートなど向けには、従来の冷蔵庫温度監視サービスに加え、空調機器の情報収集・制御を付帯させることで、遠隔温度監視と省エネの両立が可能です。これにより、運用コストの低減と信頼性の高い食品衛生管理が可能となります。

また、産業分野では、機器・設備に適用することにより、低コストで予防保全に必要なデータ収集と稼働状態の監視が可能です。これにより、計画外の設備停止の回避と保守コストの低減が可能です。

なお、本「スマートIoTサービス」はクラウドサービスとして、お客さまへクラウド環境とシステムの構築・保守をはじめ、モバイル回線によるデータ収集、メール・電話・FAXによる警報通知や収集データのレポートニングといった、一連のサービスを提供いたします。

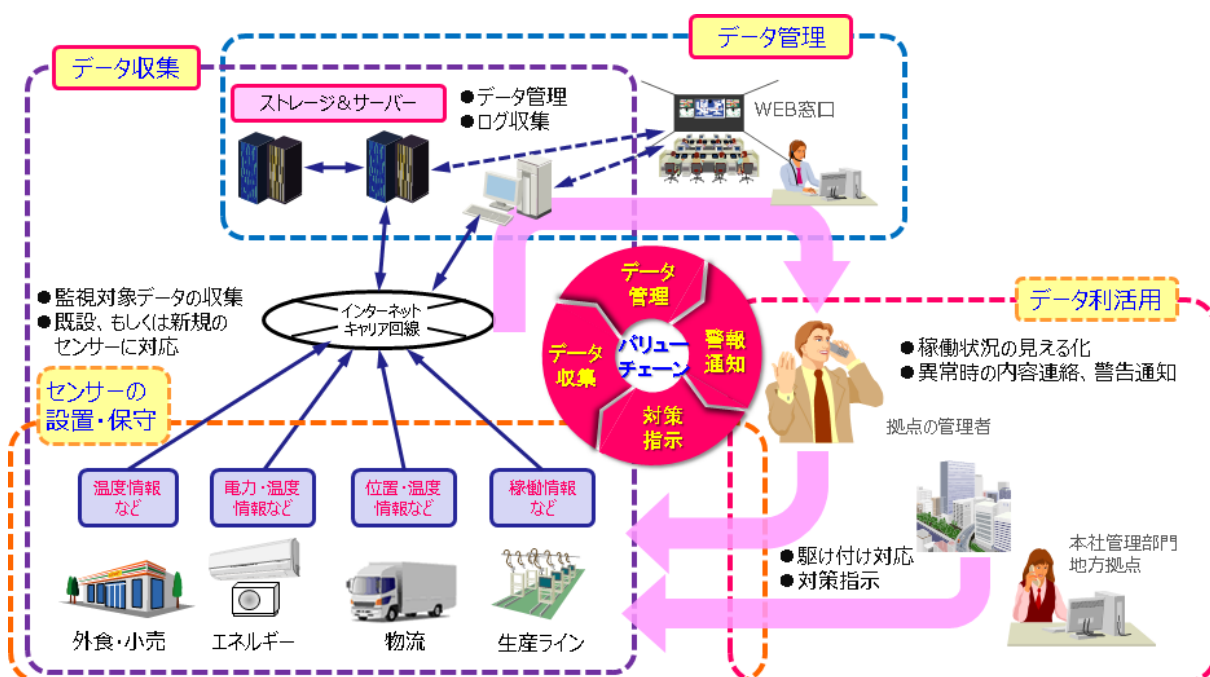
さらに、これまでの「冷蔵庫温度監視サービス」で培ったノウハウを生かし、短期間での導入・運用開始が可能です。また、お客さまの既存インフラ設備・機器・センサー類の流用もできるため、過去の投資を有効に活用できます。お客さまの要件に合わせた段階的なシステム拡張も可能で、中小規模から大規模、各地の複数拠点にまたがったシステム拡張ができます。

本「スマートIoTサービス」は、導入いただくことにより、信頼性の高い食品衛生管理、予防保全、省エネ、トータルコストの削減など、データ利活用から、お客さまにとって新たな価値を創出いたします。今後、当社では、人流計測、データセキュリティ、蓄電などの当社製品との連携による複合ソリューションへと展開し、収集データの一元管理と多様なサービスの提供を実現してまいります。また、多種多様なデータを迅速に統合・分析・可視化することで、お客さまに対して、経営の効率化や新たなビジネスの創出に向け、機能・サービスの拡充を図ってまいります。

なお、本「スマート IoT サービス」は、2016年5月11日～13日に東京ビッグサイトで開催される「IoT/M2M展」の日立グループブースに出展いたします。

- \*1 IoT:Internet of Things
- \*2 M2M:Machine to Machine
- \*3 EMS:Energy Management System
- \*4 BEMS:Building Energy Management System

## ■「スマート IoT サービス」の構成イメージ



■「スマート IoT サービス」の提供内容と価格について

品名	提供内容	価格(税別)	提供開始時期
標準サービス	(通知先(店舗、ビルのフロア等)単位) ① ユーザ管理 ② メールによる警報通知 ③ WEB ブラウザによる見える化 ④ レポーティング ⑤ 問い合わせ窓口サービス(Web サイト受付)	~4,000 円/月・通知先	2016 年 4 月 21 日
	(ポイント(測定データ)単位) ⑥ 各種センサーからのデータ収集と蓄積	400 円/月・ポイント	
電話通報サービス	自動音声電話による警報通知	オプション	
FAX 通報サービス	FAX による警報通知		
モバイル通信サービス	3G/LTE によるデータ収集		

(注)上記サービスをご利用いただくための初期導入費が別途必要となります。

■「スマート IoT サービス」に関するホームページ

[http://www.hitachi-ite.co.jp/products/smt\\_iot/index.html](http://www.hitachi-ite.co.jp/products/smt_iot/index.html)

■「IoT/M2M 展」に関するホームページ

<http://www.m2m-expo.jp/>

■商標に関する表示

記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■お客さまお問い合わせ先

株式会社日立情報通信エンジニアリング 営業統括本部 営業戦略統括本部 [担当:川口]  
〒220-6122 神奈川県横浜市西区みなとみらい 2 丁目 3 番 3 号 クイーンズタワー B 25 階  
電話:050-3101-2429 (直通)

■報道機関お問い合わせ先

株式会社 日立情報通信エンジニアリング 経営・事業企画本部 企画部 [担当:中村]  
〒220-6122 神奈川県横浜市西区みなとみらい 2 丁目 3 番 3 号 クイーンズタワー B 22 階  
電話:050-3163-5726 (直通)

以上

-----  
このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。  
-----